

ひがし

議会だより

2024 No.316

7
月号



町民みんなでGOLF!!
Let's Enjoy ゴルフ日本一!!
12ページにて紹介

ノツカルひがし

システムをアップグレードへ

岡谷市議会議員交流研修会

一般質問

特集～移動支援サービス

かがやくまちのひと

2～3

・5

・6～9

・10～11

・12



議会HP

第2回 定例会

定例会の あらまし

ノッカルひがしいずの

令和6年第2回定例会を6月12日・13日の2日間の会計の補正予算3件、教育委員会委員の任命1件、人権で原案どおり可決しました。また、一般質問は1人60分

システムをアップデートへ

日程で開催し、補正予算・条例改正の専決承認5件、条例改正2件、各擁護委員の推薦1件、議員発議の意見書案1件などを審議した結果、全以内とし、8人の議員が登壇しました。(6～9ページ参照)

Pickup ① ノッカルひがしいずプランニング業務委託 578万円



今より使いやすくしていきます

サービスのプランニング・システム設計などにより、当日の予約が可能になります。今年度中のリリースを目指し、エリアの拡大も行っていく予定です。

Pickup ② 災害復旧工事（測量設計・地質調査） 1,000万円

3月の大雨で被災した町道湯ノ沢草崎線(大川地内)の復旧工事に、ボーリングによる地盤の調査が必要になったため。



ボーリング調査等の地質調査を行います

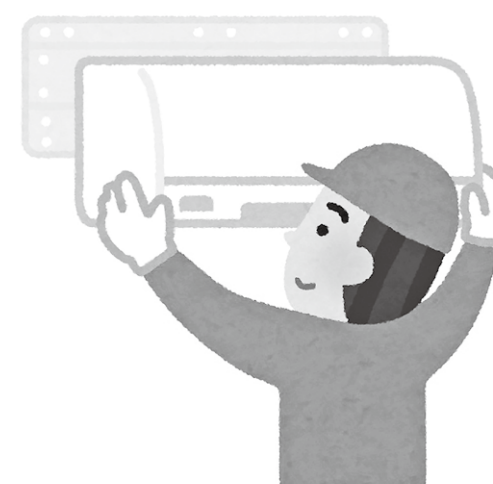
Pickup ③ 新型コロナワクチン接種委託 3,420万円

60歳以上の重症化リスクの高い方と65歳以上の方のワクチン接種費用に一人11,800円を助成します。



基礎疾患等がある方に接種しやすく

Pickup ④ 旧稲取幼稚園転落防止ネット他 390万円



旧稲取幼稚園の今後の活用に

旧稲取幼稚園の2階にエアコンの設置と階段吹き抜け箇所に転落防止ネットの取り付け、旧大川小学校の給水配管工事など。

旧稲取幼稚園は今後の活用のための改修となります。

岡谷市議会との議員交流研修会



6年ぶりに岡谷市議会へ

5月8日、9日に姉妹都市岡谷市議会との議員交流研修を岡谷市にて行いました。当町から岡谷市への訪問は、平成30年以来6年ぶりとなり、初めて参加する議員も多く、お互いの議会の現状と取り組みなどの意見交換が活発に行われました。

岡谷市 早出市長も同席

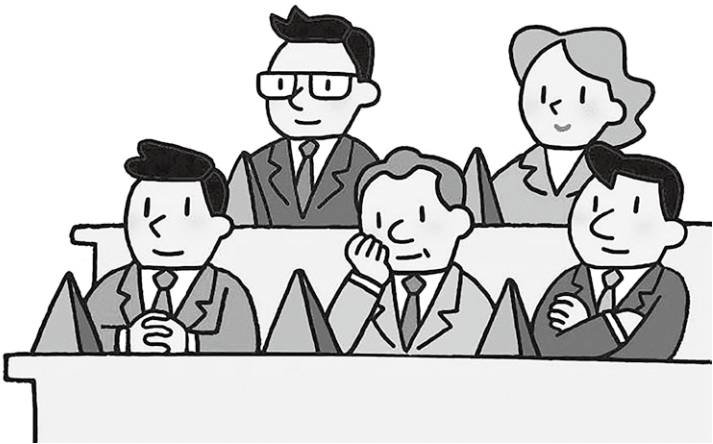
岡谷市の早出市長も研修会に同席され、岡谷市の取り組み、ロケ誘致に関してお話しいただきました。早出市長は元岡谷市議であり、議員時代には同研修会にて当町にお越しいただいております。座学終了後は、まゆ蔵をリノベーションして文化財保護を行いながら、レコード店を開業した取り組みについて、現地を視察させていただきました。



第2回定例会の議案と各議員の賛否

○ 賛成 × 反対
※議長は採決に加わらない

議案名	採決結果	山田豪彦	鈴木伸和	楠山節雄	笠井政明	稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐衛	村木脩	内山慎一	定居利子	山田直志
議員発議													
意見書案第1号 刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書	可決（11：0）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正													
専決承認第3号 税賦課徴収条例の一部改正（能登半島地震の被災者に対する住民税の特例措置等）	可決（11：0）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
専決承認第4号 税賦課徴収条例等の一部改正（個人住民税の定額減税等）	可決（11：0）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号 国民健康保険税条例の一部改正	可決（11：0）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号 町指定介護予防支援の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の全部改正	可決（11：0）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号 静岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更	可決（10：1）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×
補正予算													
専決承認第5号 令和6年度一般会計補正予算（第1号）	可決（11：0）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
専決承認第6号 令和6年度一般会計補正予算（第2号）	可決（11：0）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
専決承認第7号 令和6年度一般会計補正予算（第3号）	可決（11：0）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号 令和6年度一般会計補正予算（第4号）	可決（11：0）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（11：0）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号 令和6年度水道事業会計補正予算（第1号）	可決（11：0）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案・諮問													
同意案第3号 教育委員会委員の任命	可決（11：0）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦	可決（11：0）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○



意見書については
ホームページにて
閲覧できます



うちやま しんいち 議員
内山 慎一

Q 文化公園に共同浴場を整備する考えは

A 文化公園を中心としたエリアの再生プランの中で検討

Q 稲取温泉には共同浴場や銭湯がない。また、日帰り客や地元住民に温泉の恩恵がない。

A 温泉の町なので公衆浴場的なものがあればとも思うが、今年度から文化公園を中心としたエリアの活用について検討を始めるので、その中で地域の皆様も含めご意見をいただきながら検討していきたい。



稲取文化公園を臨んで

Q 稲取駅前通り商店街の空き店舗の対策は

A 稲取駅前通り商店街の空き店舗の対策は、新しい公共交通の整備や駅構内の活性化を通じて人流を増やし、出店しやすい環境を整備していく。

Q 稲取駅前通り商店街の空き店舗の対策は

A 稲取駅前通り商店街の空き店舗の対策は、新しい公共交通の整備や駅構内の活性化を通じて人流を増やし、出店しやすい環境を整備していく。

Q 中学校の部活動について

A 新たな部活動の在り方を考えている

Q 部活動の練習試合や大会会場への移動に個人の車で送迎しているのはなぜか。

A 全ての練習試合や大会参加への移動を個人の車でお願しているわけではない。基本的に公共交通機関で行けるような場合は公共交通機関を利用している。ただ会場までの距離や開始時間の関係でそれでは間に合わないというよう



子どもの夢を叶えよう

Q ラーケーション制度のその後の検討状況は

A ラーケーション制度のその後の検討状況は、先進地の動向を確認している状況であるが、アンケート調査を早め実施し、その結果を踏まえて対応していきたい。

Q 消防団の報酬についてのその後の状況は

A 消防団の報酬についてのその後の状況は、賀茂郡下で訓練手当が一番少ないので考えてみたい

Q ドクターヘリ運航の認識は

A 緊急時に大変重要との認識だ



住民の安心・安全に寄与するドクターヘリ

Q ランデブーポイントは町内に何箇所あるのか。

A ランデブーポイントは駿東伊豆消防組合と順天堂大学静岡病院ドクターヘリ運航対策室が協議し、

Q カーラーの救命曲線やドクターヘリ運航による死亡率の減少、また大規模災害等、いち早く現地に近づくことを考える

A 現場サイドを含む関係各部署と意識・情報共有をした上で対応していきたい。

Q 避難所の環境整備は

A 現行のものを見直し細やかに整備を進めたい



孤立に備え最低3日、できれば1週間分の備蓄を

Q 各避難所に女性スタッフの配置が必要では。

A 各避難所に女性スタッフの配置が必要では。

Q 災害時のトイレ環境の考え方は。

A 汚れて劣悪な状況になることを防ぐために初動対応が重要と考える。

Q トイレカーの導入は。

A 簡易トイレ591基（約36万回利用可能）を備蓄しているが、バキューム不要のトイレカーは有効と考える。

Q 支援物資の配布については、情報提供により取りにきていただくことを考えている。取りに來られない方には運送業者との連携を考えている。

Q 心身の健康維持の取り組みは。

A フェーズごと避難所ごとに保健師を中心に取り組み。



くすのき せつお 議員
楠山 節雄

そのほかの質問

Q レインボーデイスコクラブの継続は町の協力が重要では

A 経済効果も大きく信頼関係構築を引き続き図っていく

Q 4月の人事はどのような方針で行ったか

A 役職者の年齢層を広げ、政策の安定性を担保することを意識



こじま きょうこ 議員
栗原 京子



Q ペット同行避難訓練やペット防災セミナーなどの開催は。

A 国や県のガイドラインなどで職員のスキルアップ後に考えたい。

Q 避難所以外の被災者への対応は。

A 支援物資の配布については、情報提供により取りにきていただくことを考えている。取りに來られない方には運送業者との連携を考えている。

Q 心身の健康維持の取り組みは。

A フェーズごと避難所ごとに保健師を中心に取り組み。



山田 直志 議員

Q 稲取高校を維持・存続させるための方策は

A 町主導ではできないが非常に重要な存在

Q 幼小中高の一貫的な教育に一定の理解があったが県との協議は。

A 県から賀茂地域の県立高校のブランドデザインが示され、県担当課長などと顔合わせを行った。7月末に予定される学校教育環境整備委員会の答申を受け、町の方針が決定してからの協議となる。

Q 賀茂地域の生徒の賀茂地域外への進学状況は。

A 県立・私立への進学者

賀茂郡各市町の未成年年齢別人数の動向										現在の各高校のクラス数	
市町	令和4年	令和3年	令和2年	令和1年	令和0年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	市町	数
下田	17	16	15	14	13	17	16	15	14	下田高校	3(普通科1、定時制1)
下田	23	22	21	20	19	23	22	21	20	南伊豆高校	1(普通科1)
下田	22	21	20	19	18	22	21	20	19	稲取高校	2
下田	14	13	12	11	10	14	13	12	11	松崎高校	2(3年級3)
下田	36	35	34	33	32	36	35	34	33		10
小笠原	31	30	29	28	27	31	30	29	28		
小笠原	34	33	32	31	30	34	33	32	31		
小笠原	31	30	29	28	27	31	30	29	28		
小笠原	32	31	30	29	28	32	31	30	29		
小笠原	33	32	31	30	29	33	32	31	30		
小笠原	34	33	32	31	30	34	33	32	31		
小笠原	35	34	33	32	31	35	34	33	32		
小笠原	36	35	34	33	32	36	35	34	33		
小笠原	37	36	35	34	33	37	36	35	34		
小笠原	38	37	36	35	34	38	37	36	35		
小笠原	39	38	37	36	35	39	38	37	36		
小笠原	40	39	38	37	36	40	39	38	37		
小笠原	41	40	39	38	37	41	40	39	38		
小笠原	42	41	40	39	38	42	41	40	39		
小笠原	43	42	41	40	39	43	42	41	40		
小笠原	44	43	42	41	40	44	43	42	41		
小笠原	45	44	43	42	41	45	44	43	42		
小笠原	46	45	44	43	42	46	45	44	43		
小笠原	47	46	45	44	43	47	46	45	44		
小笠原	48	47	46	45	44	48	47	46	45		
小笠原	49	48	47	46	45	49	48	47	46		
小笠原	50	49	48	47	46	50	49	48	47		

賀茂郡の未成年人口



そのほかの質問

A 384人が登録、住民福祉課に案内窓口の設置を検討

Q 外国人の住民登録者数と町の対応は

とはいえ、稲取高校は地域にとつて非常に重要な存在であると認識している。



鈴木 伸和 議員

Q 幼小中校一貫的教育は

A 7月の答申を踏まえ検討していく

Q 町の幼小中高を含めた一貫的な教育とする案は、いつ、どのように検討されていたのか。

A 平成30年に小中一貫教育についての研究会を立ち上げ検討を開始。コロナ禍で状況が一変し再検討の必要性が生じ、令和4年4月に学校教育環境整備委員会に諮問、12月に答申を得た。一方で同年7月に県立高校の在り方についての地域協議会が設けられ、町長と教育委員会、県の教育委員会との協議の中でこの案が検討されてきた。

Q この案が町の最終計画案となるのか。

A あくまでも選択肢の一つ。今後は学校教育環境整備委員会から



県との連携が重要に

Q 急激な少子化が懸念される中、同案により高校の存続が可能と考えるか。

A 県立高校の存続については最終的に県が決定することになる。ただし、町としては県と連携が可能な点についてしっかりと連携していくことが重要と考える。

Q 県のスケジュールでは、候補地決定後3年程度で基本構想と基本計画を策定し、基本設計・実施設計を経て建築工事に2年程度を要する見込みとなっている。決定的な方針を決めていく。

Q 県は令和7年度に具象化を決定し公表するとしているが、町の対応と計画策定はどのように考えるか。

A 県のスケジュールでは、候補地決定後3年程度で基本構想と基本計画を策定し、基本設計・実施設計を経て建築工事に2年程度を要する見込みとなっている。決定的な方針を決めていく。



7月に出される予定の答申を踏まえ、諸条件を検討し、県と協議して最終的な方針を決めていく。

そのほかの質問

A 地域おこし協力隊の取り組みはこれまで17名の隊員が就任し定住率は66・7%、現在の隊員は8名で今年度新たに2名が就任予定、今後も必要に応じ募集をしながら併せて外国人の必要性も検討

Q 旧大川グランドホテルの一部が解体されたと聞くが

A 別館の鉄骨2階建ての建物が解体された



大川漁港、湯の湯、駐車場、廃墟のホテルを望む地域一体化による活性化に期待がかかる

Q 旧大川グランドホテルは「道の駅」に適している。撤去による防災面の強化と、大川漁港や磯の湯を含めた周辺の整備が進められれば地域活性化につながるが、検討できないか。

A 対象の土地が法人所有、個人所有、国の所有と複雑に入り組んでおり、

Q 残る部分の解体計画は所有者側から示されているか。

A 示されていない。町としては自発的な撤去を求めている。

Q 旧大川グランドホテルは「道の駅」に適している。撤去による防災面の強化と、大川漁港や磯の湯を含めた周辺の整備が進められれば地域活性化につながるが、検討できないか。

A 対象の土地が法人所有、個人所有、国の所有と複雑に入り組んでおり、



撤去後のことを検討する状況には至っていない。まずは建物の取り壊しを最優先に考えたい。

Q 昨年6月議会でも、町が取り壊しを行う可能性もあると言及されたが。

A 土地の問題が解決しない中で法的にも踏み込むことはできない。

Q 同じように昨年「跡地の利用に関し具体化する必要がある」と答弁されたが、国・県と連携し、道の駅などの公共的なものをつくることは考えられないか。

A その土地の所有者ではないので、今何かを言う立場にはないが、まずは廃屋の撤去が最優先という思いはある。そこに向けた様々な選択肢は排除しない。

そのほかの質問

A 町営風力発電所の撤去費用は町と民間企業のどちらが支出するのか。事業は民間に継承されるのか。

Q 事業実施の場合は民間、撤退の場合は町が負担する。事業実施に向けた計画策定は進んでいるが確定はしていないと聞いている



山田 豪彦 議員

Q 学校教育環境整備係の仕事は

A 校舎候補地の選定、通学方法の検討等全体的な調整を担う



いい環境を子どもたちに

Q 幼小中高の一体的な整備についての進展は。

A 3月に県教育委員会から町立の幼小中学校と県立高校の一体的な整備や連携が認められる方針が示され、4月には県の担当課長等と当町で顔合わせが行われた。学校教育環境整備委員会にて候補地等について話し合いが行われ、7月に答申が示される予定。その内容を精査して統合の形態など検討を開始する。

Q 学校教育環境整備係と学校教育環境整備委員会の連携は。

A 学校教育環境整備係は、学校整備がまちづくり全体に関わる事業であること

Q 統合の検討は丁寧の説明してスピード感を持って進んでいただきたいかが。

A 効率的な配置を考え防災の点も加味しながら進めていきたい。

Q 町と県が一貫的な教育の実践の中で建物を共有する事ができれば建て替えコストの削減にもなると考える。

Q 現行の校舎や体育館の老朽化については。

A 町と県が一体的な教育の実践の中で建物を共有する事ができれば建て替えコストの削減にもなると考える。



とから、候補地の選定、通学方法、基本構想や計画の策定などについて全体的な調整を担うことと想定している。学校教育環境整備委員会は諮問機関であり、学校教育環境整備係との直接的な連携は想定していない。委員会から出された答申を基に、その後係が事務的役割を果たしながら今後の新しい教育環境の在り方について検討を開始する。

移動支援サービスを 利用してみませんか

今回は2つの移動支援事業をご紹介します。それぞれをより良いサービスにすること、またサービスをご利用されたことのある方のご要望やご意見について、ぜひ

ため、本特集をご覧になったの感想や「こうだったらいいのに」と感じたひお聞かせください。(mail:gikai@town.higashiizu.lg.jp (議会事務局))



ノッカルひがしいず (ライドシェア)

「ノッカルひがしいず」はご近所さんの自家用車でのお出かけのついでに「乗っかる」ことができる助け合いの気持ちをカタチにした公共交通サービスです。

誰が使えるの？

事前に会員登録し、チケットを購入すれば町内町外問わずどなたでも利用できます。



どこまで行けるの？

片瀬・白田地区、奈良本地区の各々のエリア内で、停留所間の移動ができます。
※将来的には町内全域で運行の予定です。
※将来的にはエリア間の移動もできるようになる予定です。

いつ使えるの？

各エリアの乗車時間は以下の通りです。
乗車時間の5分前までに停留所にお越しください。

片瀬・白田地区	9:00	奈良本地区	9:30
	10:00		10:30
	11:00		11:30
	13:00		13:30
	14:30		15:00
	16:00		16:30



誰が運転するの？

あらかじめ登録した町民の方々がマイカーを利用して行います。

お申し込み
お問い合わせ

東伊豆町役場
Tel 0557-95-1100

どんな時に使えるの？

各エリア内の停留所間の利用であれば、利用目的は問いません。

※荷物運びやお買い物のお手伝い等はできません。



どうやって使うの？

利用前日の17:00までに、LINEまたは電話でお申し込みください。
(電話受付は平日のみ)



いくらかかるの？

乗車1回200円となります。
(乗り合いの場合は1回100円)
※事前に購入したチケットでの支払いとなります。

詳しくはコチラ



ノッカルひがしいずの運行にご協力いただける運転手さんも募集中です。お気軽にお問い合わせください。

支えあう東伊豆 (高齢者移動支援)

高齢者の方々が健康でいきいきした生活を送ることができるように「支えあう東伊豆」事業の一環として、65歳以上の方を対象に移動支援を行う事業です。

誰が使えるの？

65歳以上の方で事前に登録し、チケットを購入すれば利用できます。
※要介護認定を受けている方や介助が必要な方は利用いただけません。

どこまで行けるの？

東伊豆町内となります。
※鉄道の駅には行けません。

いつ使えるの？

利用の申し込みおよび、サービスの利用時間ともに年末年始を除く平日の8:30から17:00までとなります。



誰が運転するの？

協力会員（ボランティア）の方が社会福祉協議会の車両または個人の車両を運転し、お迎えにあがります。



お申し込み
お問い合わせ

東伊豆町社会福祉協議会
Tel 0557-22-1294



どんな時に使えるの？

町や社会福祉協議会が主催する各種教室やふれあいいきいきサロン、町の検診・予防接種、地元の商店・スーパーでのお買い物の送迎に使えます。
※荷物運びやお買い物のお手伝いはできません。
※病院や金融機関には行けません。

どうやって使うの？

利用の7日前までに電話かメールでお申し込みください。車両の手配ができ次第ご連絡いたします。
※対応できない場合もあります。



いくらかかるの？

利用10分につき1人チケット1枚(100円分)となります。(移動中の時間で計算します。お買い物の時間は含みません。)
※事前に購入したチケットでの支払いとなります。

運行にご協力いただける協力会員（ボランティア）も募集中です。お気軽にお問い合わせください。

かがやく まちのひと

Vol.18

今回は「ゴルフ日本一の町」の東伊豆町ゴルフ連盟の活動について、春に行われた町民ゴルフ大会に伺ってきました。和気あいあいと笑いの絶えない表彰式が印象的でした。



廣瀬重幸会長



スタートホールで「はいポーズ！」

「これまでどんな活動を平成2年、東伊豆町が「日本一スポーツを楽しめるまちづくり」を提唱し、翌年に年2回の町民ゴルフ大会を計画、300名以上が参加しました。その後、第10回大会で平均スコアが100を切っていることに気づき、「ゴルフ日本一の町」を宣言しました。対抗戦は8市町村、コロナ禍前には台湾とも対戦し全勝しています。台湾からの熱烈ラブコールを受け、台湾での交流戦にも挑みました。

「どんな思いで活動を10年務めてくれた前会長からバトンを引き継ぎ役員も若返りました。コロナ禍においても受付ではマスクをしながら継続し、今年からは町内の事業所に勤務している方、マンションに在住の方、更には東伊豆町出身の方までも参加可能にしまし



ナイスイン？



春の大会の優勝者

た。年に2回の町民ゴルフ大会ですが、もっとたくさんの方に参加していただけるように、趣向を凝らした楽しい大会を目指して役員一丸となって頑張っていきたいと思っています。

「今後の展望は」
ゴルフの魅力は、老若男女誰とでもプレイができ、前述したように言葉の壁さえもなくできます。健康で元気な町の一役を担えればと思っています。役員一同、皆さんの参加をお待ちしています。

議会広報編集委員会

委員長	栗原京子
副委員長	稲葉義仁
委員	山田豪彦
委員	鈴木伸和
委員	笠井政明
委員	山田直志

編集後記
6月定例会も無事終了して、議長として2年目に突入しました。そして、議会広報の編集委員も10年目に突入しました。
町民の皆さんにどうしたら手に取っていただけるか？どのように議会の活動に興味を持っていたらいいのか？を考えながらの9年でした。9年前の議会だよりを見てみると、見やすさは各段に上がったのではないかと思います。
今後も、町民の皆様に見ていただける広報を目指して編集委員全員で励んでいきますので、ご期待ください。
(笠井)